

# ローリングタワー

## ●組立構成図



幅木取付部



アウトリガー取付部

## ●移動式足場の安全基準に関する技術上の指針抜萃

### ①積載荷重

積載荷重 (Wkg) は、作業床 (Am<sup>2</sup>) に応じて次のようにえられた値とする。

$$A \geq 2 \text{ のとき } W = 250\text{kg} \quad A < 2 \text{ のとき } W = 50 + 100A$$

### ②使用高さ及び脚輪間隔

- 1) 控棒がない場合 脚輪 (キャスター) の下端から作業床までの高さ (H) と移動式足場の外かくを形成する脚輪の主軸間隔 (L) とは次の式を満足するものとする。

$$H \leq 7.7L - 5.0 \cdots (1)$$

(図-1)

- 2) 控棒を有する構造の移動式足場にあつては(1)式に於けるLの値を次の式により得られる値とすることができる。

$$L = A + 1/2(B_1 + B_2)$$

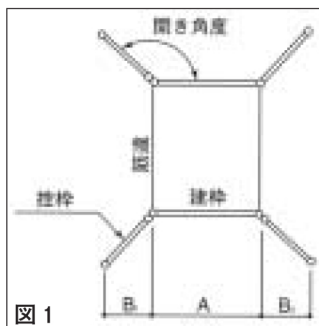


図 1

### ③脚輪

- 1) 車輪の直径は125mm以上とする。
- 2) 主軸は脚柱に対して、かん合性が良好で容易に離脱しない機能を有するものとする。

### ④昇降設備

- 1) はしご：踏さんの長さが30cm以上、かつ、踏さんの間隔が40cm以上である階段。
- 2) 階段：こう配が50度以下、かつ、幅が40cm以上である階段。

### ⑤防護設備

作業床の周囲には、高さ90cm以上の丈夫な手すり、中さんおよび高さ10cm以上の幅木を設けるものとする。

### ⑥強度

- 1) 作業床の床棧に対しては、200kg/m<sup>2</sup>の等分布荷重
- 2) 交さ筋かい、水平交さ筋かい、連けい棧およびこれら取付部に対しては、100kgの主軸荷重。
- 3) 脚輪に対しては、200kgの主軸荷重。

## ●部材明細表

名 称	品 名	重量kg	建杵A-2の段数					
			1 段	1.5段	2 段	3 段	4 段	5 段
梯子型建杵	A-2	19.0	2	2	4	6	8	10
梯子型建杵	A-1	11.5	—	2	—	—	—	—
交さ筋かい	A-14	4.2	2	2	4	6	8	10
交さ筋かい	A-16S	3.6	—	2	—	—	—	—
連結ピン	A-20	0.56	—	4	4	8	12	16
アームロック	A-125	0.34	—	4	4	8	12	16
アームロック	A-126	0.62	4	4	4	4	4	4
手摺柱	A-25	3.0	4	4	4	4	4	4
手摺 A	A-31S	2.25	4	4	4	4	4	4
手摺 B	A-32	1.45	2	2	2	2	2	2
リング付手摺 C	RT-4	1.5	2	2	2	2	2	2
鋼製布板	BKN-6	17.2	4	5	5	6	7	8
開閉式布板	HYAF518	13.0	—	—	1	2	3	4
幅木 A	RT-1	4.1	2	2	2	2	2	2
幅木 B	RT-2	2.6	2	2	2	2	2	2
車輪	A-728J	4.8	4	4	4	4	4	4
アウトリガー	控杵	RT-3	—	0	—	4	4	4
	タワージャッキベース	RT-5	—	0	—	4	4	4
重 量 (kg)			177		244	367	434	501

※鋼製布板は、最下段、および各段に1枚、最上部は3枚とする。

## ●ジャッキ付車輪 (A-728J) 使用範囲

J付車輪	建杵A-2の段数		1 段	2 段	3 段	4 段	5 段
	A-728J	(7.4kg)	1804~2014	3353~3563	4902~5112	6451~6661	8000~8210

## ●積載荷重 250kg (但し、作業床の面積 2 m<sup>2</sup>以上)

### 使用上の注意

- 車輪のブレーキ：移動中を除き、常に作動させておいて下さい。
- 水平つなぎのとりつけ：最下段には、鋼製布板をとりつけ移動によるローリングタワーの変形、ねじれを防止して下さい。
- 移動：作業者が降りたのち行なって下さい。
- 作業：ローリングタワーの上では、移動はしご、脚立等を使用しないで下さい。
- アウトリガー：3段以上の場合は、アウトリガーを設けて下さい。